

〔ゼノンGHPリニューアルマルチ室外ユニット・寒地仕様〕

形 式		GCRP2243MTY1 GCSR2243MTY1	GCRP2803MTY1 GCSR2803MTY1	GCRP3533MTY1 GCSR3533MTY1
電 源		単相又は三相 200V 50/60Hz 2077×880×1400		
外形寸法(高さ×奥行×幅)		mm		
能力	定格冷房標準	22.4	28.0	605
	中間冷房標準	12.3	15.4	35.5
	最小冷房標準	12.3	15.4	18.6
	定格暖房標準	25.0	31.5	40.0
	中間暖房標準	13.7	14.2	18.0
	最小暖房標準	26.5	33.5	42.5
	最大暖房極低温	26.5	33.5	35.5
	最大暖房極低温	0.81	0.72	0.84
	期間成績係数(APFp)※1	1.19	1.32	1.46
	音圧レベル	dB(A)	54(サイレントモード:52)	57(サイレントモード:55)
運転音	dB(A)	71(サイレントモード:69)	76(サイレントモード:74)	77(サイレントモード:75)
電気特性	始動電流	20		
	定格冷房標準	単相:2.8、三相:1.6	単相:4.0、三相:2.3	単相:4.4、三相:2.5
	中間冷房標準	単相:3.3、三相:1.9	単相:4.2、三相:2.4	単相:3.5、三相:2.0
	最小冷房標準	単相:3.5、三相:2.0	単相:4.4、三相:2.5	単相:3.5、三相:2.0
	定格暖房標準	0.378	0.602	0.720
	中間暖房標準	0.328	0.580	0.590
	最小暖房標準	0.319	0.363	0.439
	最大暖房極低温	-	0.251	0.312
	最大暖房極低温	0.466	0.614	0.527
	最大暖房極低温	0.221	0.255	0.305
燃 料	定格冷房標準	68	76	83
	中間冷房標準	71	74	76
	最小冷房標準	72	75	77
	定格暖房標準	19.1	29.5	32.0
	中間暖房標準	8.7	9.5	8.6
	最小暖房標準	7.4	7.9	7.5
	定格暖房標準	18.6	25.1	29.8
	中間暖房標準	8.7	8.3	9.6
	最小暖房標準	-	9.0	8.4
	最大暖房極低温	28.7	37.3	45.3
エンジン	種類	都市ガス(13A・12A)		
	定格冷房標準	19.1	29.5	32.0
	中間冷房標準	8.7	9.5	8.6
	最小冷房標準	7.4	7.9	7.5
	定格暖房標準	18.6	25.1	29.8
	中間暖房標準	8.7	8.3	9.6
	最小暖房標準	-	9.0	8.4
	最大暖房極低温	28.7	37.3	45.3
	最大暖房極低温	29.3	39.8	39.2
	配管関係	種類	水冷立型4サイクルOHV	
気筒数×内径×行程(mm)		3×72×78		
総排気量		0.952		
潤滑油種類		FL-10000G		
潤滑油封入量		30		
定格出力		5.0	6.2	7.9
防振装置		防振ゴム		
回転数範囲		800~1470	800~2130	800~2290
始動方式		800~2450	800~2900	800~3000
許容配管長		冷媒液管	mm φ 9.52(ろう付接続)	
	冷媒ガス管	mm φ 9.52(ろう付接続)		
	冷媒配管位置	mm φ 22.22(ろう付接続)		
	燃料ガス配管	R3/4		
	排気口	φ80(排気口位置:上面)		
	排気ドレン	φ40		
	凝縮水排出口	φ15.8		
	許容配管長	m 190/165		
	許容第一分岐以降の配管長差	m 40		
	配管長第一分岐以降の最遅配管長	m 60		
室内外ユニット間室外ユニットが下	m 40			
許容高低差室外ユニットが上	m 50			
室内機間許容高低差	m 15			
圧縮機	種類	スクロール式×1		
	回転数	1640~3014	1640~4367	840~2405
	範囲	1640~5023	1640~5945	840~3150
	排気量	cm³/rev×台 86×1		
	冷凍機油封入量	L 3(冷凍機油:NL10)		
	動力伝達方式	ボリVベルト		
	種類	三菱重工GHP純正クーラント		
	濃度(凍結温度℃)	%		
	濃度(凍結温度℃)	65(-35)		
	水ポンプ	種類	DCブラシレスキャンドポンプ	
流量×揚程		L/min×m 25×2.1		
定格出力		kW 0.08		
熱交換器方式		スリットフィン式		
排ガス熱交換器		多管式		
エンジンラジエータ		ルーバーフィン式		
排熱回収熱交換器		プレート式(冷媒加熱)		
除霜方式		リバーズ方式		
冷媒制御方式		電子膨張弁		
空気吸込口		正面・後面		
送風装置	種類	R410A		
	封入量	kg 11.0	11.0	11.5
	形式	× 台		
	風量	m³/min 167		
	電動機	種類		
	定格出力	P 8		
	接続可能室内機容量	kW 0.275×2		
	室内ユニット接続容量範囲	kW 11.2~29.1		
	接続可能室内機台数	1~13台		
	接続可能室内機	22形~224形		
法定冷凍トン	RT 4.6			
塗装色(マンセル近似)	ハビルスグレー(9.9Y8.4/1.2近似)			

- 記事1. 冷房・暖房能力、電気特性および燃料消費量はJIS B 8627条件で、当社測定基準により運転した値です。ただし、電気特性は、室外ユニットの値です。
2. 期間成績係数は室内機GTP * * * 4M1と組み合わせた場合の値を示します。
3. 冷媒量は出荷時の封入量を示し、基準冷媒量(配管0m時)です。現地接続配管分の冷媒は封入していません。配管長、配管径に応じた冷媒を現地にて封入してください。
4. 保護装置
- ・ユニット保護
 - ・高圧圧力
 - ・低圧圧力
 - ・通信
 - ・吐出温度
 - ・エンジン過回転
 - ・エンジン低回転
 - ・マイコン暴走
 - ・センサ断線
 - ・エンジン保護
 - ・エンジン冷却水温度
 - ・エンジン油圧
 - ・センサ断線
5. 冷媒配管“分岐”部品(別売品) 組合せ台数・分岐方式(分岐管又はヘッダ)により選定してください。
6. 運転音(音圧レベル)はJIS B 8627(2006)の条件により、無響室での数値に換算した値です。実際に据付けた場合は設置条件や周囲の騒音の影響により表示値より大きくなるのが普通です。
7. 運転音(パワーレベル)はJIS B 8627に基づいた音響パワーレベルの値です。
8. 単相電源には別売電源キットが必要です。
9. 小部屋に据付けの場合は、日本冷凍空調工業会のガイドライン JRA GL-13に従い、万ー冷媒が洩れても限界濃度を超えない対策が必要です。

※1: 地域 東京、建物 事務所
 ※2: $h = 35 - (L - a) / 2$ [m] 以下 ただし $0 \leq h \leq 15$

外形図	GCRP2243MTY1, GCSR2243MTY1: PCL000Z970
外形図	GCRP2803MTY1, GCSR2803MTY1: PCL000Z991
外形図	GCRP3533MTY1, GCSR3533MTY1: PCL000Z992
電気配線図	GCRP2243MTY1, GCSR2243MTY1: PCL000Z971
電気配線図	GCRP2803MTY1, GCSR2803MTY1: PCL000Z971
電気配線図	GCRP3533MTY1, GCSR3533MTY1: PCL000Z997

適用機種	GCRP2243.2803.3533MTY1 GCSR2243.2803.3533MTY1		
形式	GC		
発行者	名称 要目表(室外ユニット) SPECIFICATION		
千賀	図番	PCL000Z975	訂 符 業 別 F
	16.10.20		2/4